



2024

12

第415号

真宗大谷派京都教区教化広報誌

教区だより



今、この時に、
親鸞聖人に会う

長浜第24組 みのへひろみち 美濃部 裕道 氏
東京教区 こんどうよりこ 近藤 順子 氏

特集

能登教区災害復興支援

山科別院
報恩講

今、この時に、 親鸞聖人に会う



私の中に存在し続ける 真宗の教え

長浜第二十四組 来入寺

美濃部 裕道



京都教区長浜第24組、来入寺の美濃部裕道と申します。私は脳性麻痺アテトーゼ型という、自分の意思に関係なく身体が動く障害を持って生まれました。長浜市木之本町の人情深い地域で育ちました。「だんない（大丈夫という意味）がな、だんないがな」という

言葉が報恩講や永代経で飛び交っていて、子どもながらに「いい方言だなあ」と思っていた。聞いていました。

地元の幼稚園を卒園後、小中学校・高校は養護学校（特別支援学校）に12年間通いました。養護学校の高等部で、自分の障害について問いを抱くようになり、一念発起して大谷大学に進むことを目指しました。家族や先生、大学の方々のサポートもあり、無事に入学できました。入学後も、今言う「合理的配慮」として大学側が学生有償ボランティアを整えて提供してくださる板書テイクや食事サポートを受けながら、学生生活を過ごしました。アパートでの下宿生活も、京都にある居宅介護事業所による重度訪問介護を利用して営みました。

最初の衝撃は、当時の学長だった木村宣彰先生が入学式の挨拶の中で「大谷大学は役に立つ人材は作らない。役に立つ・立たないを超えて一筋の道に生きる人間を作る・育てる」とおっしゃった言葉でした。社会でどう役に立つかよりも、人間として自分がどう信念を持って生きるかということが大事だということと今も私の心に残り続けています。

大学では、社会学科の社会福祉コースを専攻しながら、真宗大谷派の教師資格も取ることにしたので、かなりの授業を受けました。障害の社会モデルについて、私と同じように障害のある方々と勉強会を行い、深め合いました。また、真宗や仏教についての授業や「人間学」の授業では、「自力に破れて、本願他力にすぎること」について問いを深めていきました。「障害を障害者個人の努力によって解決させるのではなく、社会環境の問題として捉える社会モデル」が、「個人の努力・自力に破れて、本願他力にすぎること」について問いを深め、大学生活の4年間は自分の人生にとってライフワークに出逢う転換期だったと思います。

卒業後、「NPO法人CILだんない」という自立生活センターを立ち上げ、障害の社会モデルへの変革を掲げ、日々活動しています。14年目を迎えて、運営や活動にバタバタしていますが、大学時代に抱いた問いを、今も私の中で咀嚼し続けています。現在の生活は、エネルギーの大部分を「だんない」に注いでおり、お寺のことや、報恩講や永代経での出仕や、お墓参りなどでお勧めさせていただくくらいと、反省しています。この原稿を執筆させていただいたのも、いまだに自分でよいのかと思うほどです。それでも、私の生活の中には、確かに真宗の教えが常に存在し続けている気がします。今後も、その視座を持って、私の生活や活動を見ていきたいと思っています。



NPO法人CILだんない
Webサイト
<https://cil-dannai.jp>



女性の体の持ち主は、誰か？

東京三組 念速寺 ねんそくじ
解放運動推進本部 女性室スタッフ

近藤 順子 こんどう よりこ



最近、和服で出かけるとセクハラに遭わないということに気が付いた。自坊では作業衣だが、そのご縁があつて以来、研修や組会に色服しきふくで出かけるようになった。

ある時、信号待ちで向こう側に立っている女性に目が行った。体形がよくわかる服装をしていたので、体のほうが目が行って「あっ」と思った。洋服は体の線を強調する。胸を大きく、ウエストを細く。それはある意味、「男性」が好む体形になるように、自分の体を補正し、男性にアピールしているように思えた。その点和服は、体の凹凸を減らし肌の露出も少なく、目線も体形に

行きづらいのではないかと。

皆さんはどう思われるだろうか。今まで女性たちはシェイプアップを欠かさず、高い化粧品を買い、「男性」の期待にこたえて美しくあるべく努力を重ねてきたのかもしれない。しかしその期待にこたえようとするあまり、自分自身がどのような生き方をしたいのを見失っていないだろうか。

女性の体は男性とのセックスのためだけに存在しているのではないが、あたかもそうであるかのような情報が世の中に溢れている。

女性の胸が極端に強調されたキャラクターが、公共の場の広告やデザインの中で跋扈ばつこしている。「あれは男性の願望」とつぶやきながら通り過ぎる。週刊誌には美女・巨乳などの文字とともに水着の写真があるのが当たり前。女を体で値踏みする視線が、不愉快極まりない。

統計を見ると性犯罪の加害者は男性が99%。こうして原稿を書いている今も、どこかで誰かが襲われ心に傷を負い、人生を壊されている。明日は自分か、自分の家族かもしれない。

性の問題は「男女」で「女性」のことを語るのだと思っている人がいる。

そこで女性が男性のことを語ると意見の圧殺が起ころ。

優位性をもって高い高い下駄の上から、下に向かつてなされる。でも言っているほうは極めて「対等」だと思っいて、むしろ弱者のほうが優遇されているとすら感じている。だから自分の立場を揺るがすはずのない弱者から異論が出ると、当惑してしまうのだ。

でも私は黙らない。それは娘に同じ思いを味わわせたくないし、息子に女性の言葉を受け止められる人になってほしいから。この屈辱は私の世代で終止符を打ちたい。私は有難いことに就職になれた。それは存在をかけて闘い、制度を勝ち取った先輩たちのおかげ。だからこそ、無視され、拒否され、

否定され、見下されても、私も異を唱え続ける。痛みを耐えながら構造変革を求め、希望を託す。間に合わせたい。次の世代には全く違う世界を生きてほしいから。

教えに出会う出遇わないに関係なく、存在は平等。その上で、人間同士が地獄を作っている。そんな人もあなたは必ず仏になる人だと、阿彌陀仏は徹底的に私たちを敬つて下さっている。相手だけが尊いのもなく自分だけが尊いでもない、あなたも私も共に尊いというところで、そしてお互いに阿彌陀仏をいただく法友として場を共にしたいと願っている。

犯罪統計資料 令和5年1月～12月確定値より (警察庁刑事局捜査支援分析管理官)

		令和3年	令和4年
不同意性交等・不同意わいせつ検挙数 (合算)	男	4383	5635
	女	23	44
	総計	4406	5679
	割合		
	男	99%	99%
	女	1%	1%
被害者認知件数	男	269	356
	女	6094	8451
	総計	6363	8807
	割合		
	男	4%	4%
	女	96%	96%



ボランティア活動にかかわって

能登教区

浄明寺
きしはるか
崖超



輪島市では1月1日の地震災害に続

き9月21日に線状降水帯による豪雨災害が起きました。いたる所で土砂崩れが起こり10月2日現在600人の方が避難所生活を強いられています。また、一部の仮設住宅では床上、床下浸水により住むところがなくなった方もたくさんおられます。全戸(147戸)床上浸水の被害にあった仮設住宅では泥出し、乾燥、消毒、床と壁の張替えのため40日の日数を要し、年内の復旧は難しいといわれています。ようやく生活が安定したところでの災害に、立ち上がる気力をなくした方も少なくありません。在宅者も早急な家屋、店舗の復旧に向けてボランティアの力が欠かせない状況です。水害が起こる前の炊き出しが必要だったことは、震災直後の避難所ではとにかくお腹を満たし、命をつなぎとめる一食。その後は、お楽しみの一食と移り

変わってきました。

仮設住宅ができてからは炊き出しでは家計の補助としての役割や、新しい環境でのコミュニティー形成のアイテムとしての役割として食事を提供してきました。また、私たちが1月末から行っている出張カフェはおしゃべりの場として重宝されています。おしゃべりの場では必ずといっていいほど皆さんは1月1日からの事をお話してください。恐怖、不安、苦しみを言語化することで心が楽になるそうです。もしかするとグリーンケアに近い役割を果たしているのではないかと思っています。水害が起こった現在は、作業系のボランティアはもちろん避難所、仮設住宅、在宅者に向けて心のケアを含んだ役割を持った炊き出しの支援も必要になっていると感じています。心のケアといっても専門的な知識は必要ないです。ただ、丁寧にお話を聞いて名

前と顔を覚えて欲しいです。丁寧に会ってくださいます。私たちは「またくるね」という言葉に支えられているのかもしれない。出会いが心を支えてくれていると感じています。私に聞いて言えば人と会うことが楽しくて支援活動に出かけているのかもしれない。「地震と水害のせいでこうなってしまった」ではなく、地震と水害のおかげで、とは言えませんが「地震と水害がきっかけでこうなったといえるような生き方がしたい」と願っています。親鸞聖人はすでに教えてくださっています。円融至徳の嘉号は、悪を転じて徳を成す正智(『顕浄土真実教行証文類総序』真宗聖典第二版159頁)南無阿弥陀仏の教えは、苦悩はやがて自分を育て、成長させていくものに変わっていく智慧だ、と言い換えることができると思います。能登は急激な過疎が進み限界集落もたくさんあります。人口の3分の1程の人が帰ってこないといわれています。それでも能登には人がいます。声を聞いてください。出会ってください。かつて、お念仏の教えが根付いていた地域に、再びお念仏が沸き起こる手助けをお願いしたいと思っています。



能登でのボランティア活動について

山城第四組 光久寺
とく だみのる
徳田 実



8月上旬に能登半島の輪島で、初めてボランティア活動をしました。

きっかけは石川県でボランティアをしている方から「いつかあなたの住んでいる場所も大災害に会うから、自分のためにも地域のためにも、実際に被災地を見ておいたほうがいい」という言葉をかけてもらったからです。

真宗大谷派の有志でつくられる「災害支援北陸門徒ネット」の炊き出しに参加しました。すでに現地での活動体制が確立されていたので、特に必要な持ち物はありませんでした。ただ事前にボランティア保険に入っておすすされました。私が加入したボランティア保険は全国社会福祉協議会のもので、通常は最寄りの社会福祉協議会で申込みますが、災害時はネットで申込が可能です。私はネットで500円の保険に加入しました。

京都から輪島までは370キロほどありますので、金沢で前泊しました。今回は自家用車で向かいましたが、災害時にはレンタカー会社がボランティア活動へ

の各種支援・割引を行っています。高速代金は事前にネット申請し、行政に認可された団体での活動を石川県庁で確認してもらえれば無料になります。また宿泊の際にも、様々な補助等があります。各ボランティア団体・行政からの支援等がありますので、事前に調べておくとボランティアに取り組みやすくなります。

京都から車で金沢へ向かう道中は地震の影響を感じませんでしたが、能登半島に入ると道路状況が一変します。能登半島の動脈「のと里山海道・能越自動車道」は開通はしていましたが、道路のうねりやひび割れはそのまま、陥没・崩落箇所はう回路が造られ、「通ることはできる」という状況でした。

自動車道を降りると、アスファルトが剥がれた道、崩れた家、ブルーシートがかかった屋根、斜めになった標識・信号機、崩落した山肌がずっと視界の中に飛びこんできます。「半島」全体が被災しているという現実を私は分かっています。輪島の町も主要な道路は通ることは

できる状況ですが、倒壊した家屋の解体やがれきの撤去は全く進捗しておらず、「日常」の回復は本当にまだまだ先の状況でした。

輪島の浄明寺さんの庫裏で準備をし、仮設住宅団地での炊き出しをお手伝いしました。最初は高齢の方たちが夕方になると仕事帰りの方たちが炊き出しを受け取られ、振る舞いのお酒を楽しんでくださいました。住み慣れた家・土地を離れ、小さな仮設住宅で不便な生活を強いられながらも、日々精一杯に生活を送られている方々への炊き出しは、疲れや気持ちと和らげることができ、大切な活動だと強く感じました。

ぜひ多くの方が現地へ身を運び、五感で現実を共有していただきたいです。私はボランティアで全くお役にたてませんでしたが、浄明寺の崖さんは「僕らは来てもらえると元気が出ます」と仰ってくださいました。

9月21日の豪雨でさらに甚大な被害が出ています。この記事が掲載される時点においても復興は進んでいないと思います。それほどの巨大災害です。息の長い伴走が必要です。できることから共に、よろしく願っています。



ボランティア活動への募金

「大谷派災害支援チーム輪島」
北國銀行 輪島支店 普通 34197

山科別院 法務員

天野 雄大



去る、9月24日、25日に山科別院の報恩講を厳修いたしました。24日のお速夜には鍵役が参修され、25日のお日中には門首が親修されました。

私は、今年の6月にご縁をいただきまして山科別院で勤めさせていただきとなり、今回の報恩講は初めての出勤となります。

私は一般の寺院でお勤めされている報

に響き渡っており、参拝に來られている方々も聞き入っておられたのではないかと思います。

雰囲気の違いもあつて終始ものすごく緊張した状態でしたが、周りの方々のおかげもあり、無事に報恩講が勤まりました。私自身、他人に迷惑をかけてはいけないという考えのもと、一人で抱えて行動することがあります。そういったこともあり、緊張が増したのかもしれない。

報恩講を通して、自分の力では何もできないけれども、周りの方々によって助けられている自分がいるということを感じました。



25日



24日



ひとひと 男と女の平等って、なに？

出版部会

岩永 晶子

月参りに伺ったお宅でのことです。そのお宅は、普段お母様お一人なのですが、その日は珍しく息子さんがご一緒でした。

勤行の後、その息子さんが開口一番「ごえんさんが前に言うてはったことやと思うんですけど、ほんまに子どもに教えてもろてます」と言われました。

息子さんに会うのはとても久しぶりで、前に何を話したか思い出せず、私は子育ての苦労話でも始まるの

かと想像しました。

ところが続きを聞いて驚きました。息子さんは、ご自身のお子さん達が小・中学校で学んでくる「男も育児をするとか、ジェンダーのこととか」の話や、文字通りお子さんから教えてもらっているというのです。「子どもの話聞いてると、男も女もないですわ」と、笑顔で話されていました。私は、まさかお参り先のお宅で、中年の男性からこんな話題をみずみずしい言葉で聞けるとは、想像していませんでした。

かつて、女性僧侶は差別を受けた、という体験談を聞いてきました。けれども現在、日々の法務の中で私

自身は差別を感じることはありません。もし内心では差別意識があつても、「外面には出してはいけない」という世の中に変化してきたのだと感じてきました。

今回、「内面的にも」男女平等の感覚を育てている方に出会えました。そのことにとっても驚いたのは、普段から私自身に「ある程度以上の年齢の人は、外面は整えても内面は変化しないだろう」という先入観があつたからだだと思います。年齢に関わりなく、対話によつて人は変わるといふ希望を抱くとともに、僧侶として法話をする責任の重さを感じた出会いでした。

京都教区 12月の教区事業

2日(月)	13:00～15:00	准堂衆会 女声声明講習会 (Zoom 併用)	教区会館 2階 大講堂
3日(火)	16:30～18:00	仏教青年会 声明教室	教区会館 2階 大講堂
7日(土)～8日(日)		青少年教化研修会	教区会館
11日(水)	9:30～15:30	坊守会 基礎講座 (Zoom 併用)	教区会館 2階 大講堂
20日(金)	19:00～21:30	共学研修院公開講座	長浜別院 大谷会館 講堂

京都教区 12月の教区諸会議

2日(月)	14:00～16:00	参事会・常任委員会 合同会議	教区会館 2階 大講堂
10日(火)	13:30～16:30	教区門徒戸数調査委員会小委員会・財政専門部会	教区会館 2階 大講堂
12日(木)	13:30～17:00	教化本部 教化調整協議会	教区会館 2階 大講堂
23日(月)	13:30～16:30	教化本部 出版部会 編集会議	Web 会議 (Zoom)
24日(火)	14:30～17:30	教化本部 研修講座部会 会議	教区会館 2階 大講堂

教務所からのお知らせ

敬弔

ご生前のご功勞を偲び、謹んで哀悼の意を表します。

・近江第一組榮泉寺
住職 澤 紹明 五十六歳

二〇二四年十月五日

教務所・教務支所閉所のお知らせ

・2024年12月13日(金)

所員ミーティングのため、教務所・教務支所を閉所いたします。

年末年始休日のお知らせ

・2024年12月28日(土)から
2025年1月5日(日)まで

年末・年始休日のため、教務所・教務支所を閉所いたします。

長浜教務支所の現金取扱い日について

今年度下半期(2025年1月～6月)の長浜教務支所の現金取扱い日は左記のとおりです。お知らせいたします。

1月14日(火)	1月27日(月)
2月10日(月)	2月25日(火)
3月10日(月)	3月24日(月)
4月14日(月)	4月28日(月)
5月12日(月)	5月26日(月)
6月9日(月)	6月23日(月)

京都教務所 人事異動

【二〇二四年十月三十一日付】

・藤井学(ふじい まなぶ)

京都教務所 主事

願により役務を免じます。

教区だより 表紙写真大募集!!

本誌表紙写真を大募集いたします！テーマは宗祖親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃法要テーマ「南無阿彌陀仏人と生まれたことの意味をたずねていこう」です。ご応募は、京都教務所(担当:赤松)まで。お待ちしております！



水保フォーラム「水保・京都展」

・2024年12月7日(土)から
2024年12月22日(日)まで

会場/京都市勧業館みやこめっせ

水保病事件についての展覧会「水保展」。近畿地方では18年ぶり、京都では初めての開催となります。



水保フォーラム「水保・京都展」

特設サイトはこちら



依頼「令和六年能登半島地震」

災害に対する救援金の勧募について

去る一月一日「令和六年能登半島地震」が発生し、能登地方を中心に広域にわたり未曾有の被害をもたらしました。このたびの地震の影響を受けた北陸の地は真宗門徒の多い地域で、とりわけ震源地である能登地方は、近年、度重なる地震により何度も苦しい思いをされてきました。

そのような中で、このたびの巨大地震の発生により、多くの寺院・門徒が甚大な被害を受け、大変深い悲しみと不安の日々を過ごされております。

つきましては、何卒ご理解を賜り、有縁の方々にもお声がけいただき、可能な限り救援金をお取り纏めの上、同封の郵便払込用紙にて送金くださいますようお願い申し上げます。

また、このたびの被害状況から、京都教区としての救援金支援は、複数年度間に亘る必要があると考えております。今後の継続支援としての勧募は情勢を検討しながら改めてお願い致しますので、引き続きご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

京都教区救援金総額

二〇二四年十月三十一日現在

29,832,221円

京都教区別院 12月の行事予定

3日(火)	13:30~16:30	山科	同朋の会 法話 磯野恵嗣師(山城第1組 新道寺)	山科別院
5日(木)	12:00~13:00	赤野井	定例法要 法話 中川眞師(別院輪番)	赤野井別院
5日(木)	14:00~16:00	山科	定例法話 法話 谷大輔師(近江第2組 良覺寺)	山科別院
6日(金)	14:00~16:00	伏見	声明作法講座 法話 浅井誠師(山城第3組 皆演寺)	伏見別院
10日(火)	14:00~16:30	伏見	同朋会(御文輪読)	伏見別院
12日(木)	14:00~16:00	大津	親鸞講座 法話 吉田剛師(近江第1組 蓮瑞寺)・沙加戸弘師(大谷大学 名誉教授)	大津別院
13日(金)	10:00~11:30	岡崎	三日講「味読正信偈」 法話 福田大師(別院輪番)	岡崎別院
17日(火)	19:00~21:00	伏見	親鸞教室 法話 藤原正寿師(大谷大学准教授)	伏見別院
20日(金)	9:00~12:00	山科	おみがき	山科別院
25日(水)	14:00~18:00	伏見	すす払い	伏見別院
27日(金)	12:00~13:00	赤野井	御内仏報恩講 法話 中川眞師(別院輪番)	赤野井別院
31日(火)	11:00~12:00	長浜	歳末勤行	長浜別院
31日(火)	14:00~15:00	五村	歳末勤行	五村別院
31日(火)	23:30~24:00	長浜	除夜の鐘	長浜別院
31日(火)	12:00~13:00	赤野井	歳末勤行	赤野井別院
31日(火)	13:00~13:30	大津	歳末勤行	大津別院
31日(火)	16:00~17:00	山科	歳末勤行	山科別院
31日(火)	15:00~16:00	岡崎	歳暮勤行	岡崎別院
31日(火)	14:00~16:00	伏見	歳暮勤行	伏見別院

教務所・教務支所閉所のお知らせ 12月13日(金) ※所員ミーティングのため教務所・教務支所を閉所いたします。

年末・年始休日のお知らせ 12月28日(土)~1月5日(日) ※年末・年始休日のため教務所・教務支所を閉所いたします。

京都教区 公式SNSあります!



公式SNSで更新情報や、このページにある「今月のことば」についてのひとことメッセージなど、配信しています。下記QRコードから、登録よろしくお祈りします!

LINE公式アカウント
2024年11月1日現在、登録者数84名。ぜひ登録をお願いします!



Facebook
Instagram
もちろんあります!



編集後記

報恩講の時節、外陣や参詣席で、何度かお勤めに遇わせた。最初から最後まで一緒にお勤めしたいと思うが、私は音域が狭いので、ときに皆さんと同じ高さでお勤めできないこともある。その場合、先輩から教わった「聞の声明」という言葉を思いだして聴聞している。

これまで声に出して同じようにお勤めすることを周囲に押しつけてきたが、「同朋唱和」という言葉にとらわれすぎて、その中身・願いを問うことを忘れていたように思う。報恩講に限らず、お勤めに遇うなかにたずね続けたい。

(出版部会 比叡谷真)

【表紙の写真】「真宗本廟(東本願寺) 御正忌報恩講 子ども報恩講のつどい」(小山大来 山城第2組 圓重寺)

